

自給飼料確保のために、水田で牧草を作ろう！

～稲 WCS の水田裏作でエンバクを播種しました～

安房農業事務所改良普及課 令和5年11月10日発

飼料価格が高止まりする昨今の状況下では、畜産農家にとって「いかに自給飼料を確保するか」が非常に重要な課題です。

そこで鴨川市で初めての取り組みとして、地域の酪農家が水稻営農組合に働きかけ、10月上旬に稲 WCS 収穫後の水田約1ha にエンバクを播種しました。酪農家にとっては自給飼料の確保に繋がり、水稻農家にとっては秋冬期の耕うん作業が省力化できるため、お互いに利点のある取り組みとなります。エンバク播種前に堆肥の散布も行っており、地域内での資源循環、地力向上が期待されます。

安房農業事務所ではエンバクと令和6年作付けの稲 WCS の生育、収量を調査し、酪農家、水稻農家にデータを示すことでより良い耕畜連携の在り方を検討していけるよう、支援していきます。



大区画水田で生育中のエンバク



たくさん収穫できますように…！